

## 観測実施率

岡山天体物理観測所の共同利用観測における観測実施率、すなわち「割り付けられた日程のうちどのくらい観測ができたか」を調査した。下図（図1 - 29参照）は1992年から1996年にかけての共同利用で提出していただいた報告書の中から、結果の記載がないものを除きすべての268通の報告書から作成したものである。横軸は観測実施率（％）、縦軸は観測数である。

この図から分布を見ると、20％から70％に大多数が分布し、それ以上とそれ以下は少ない。平均値は45.1％で、個々の実施率はかなりばらついている

ことがわかる。これらのことより、平均6日に近い最近の観測割付けが、ある程度天候を均していると推測されるものの、観測者から見れば、このバラツキはかなりのものであり、観測計画が期待通りに進まない一つの要因ともなっている。

2000年からは、プロジェクト制を導入し、一般的な共同利用だけでなく、長期的な計画に基づいた観測も受け入れている。これは、より岡山天体物理観測所のサイトや望遠鏡に適した観測や研究を行うべく、プログラム小委員会やユーザーと協議の上で進めている一つの成果である。

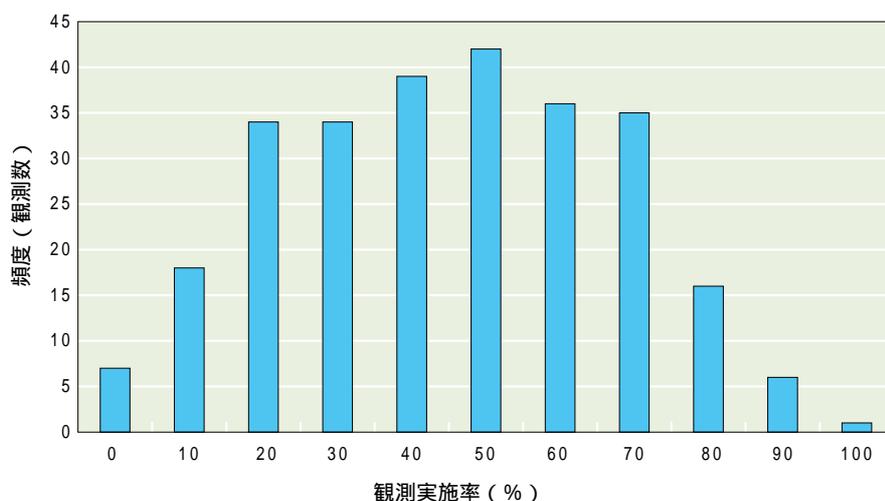


図1 - 29 観測実施率の頻度分布（'92～'96）